

# 唐人町公園のデザイン

1090497 山光 雄大  
高知工科大学工学部社会システム工学科

## 背景と目的

高知市中心部には唐人町の鏡川付近から帯屋町の江ノ口川付近までつづくグリーンロードという遊歩道がある。高知市の都市計画には江ノ口川からグリーンロードを通り、中央公園を抜け鏡川沿岸を通り木曜市などの開かれる通りから県庁までの歩行者ネットワークがある。しかし現在唐人町公園の所でネットワークが途切れている。そのため歩行者ネットワークが正常に機能するための改善案を提案する。



図1, 広域全体図



図2, 設計対象範囲

## 現況の問題点

唐人町公園は鏡川の堤防の一部となっており、グリーンロードよりも2.2m高い場所にあるためグリーンロードから見ると行き止まりに見える。



写真①  
・公園と車道との間に大きなレベル差があり歩行者は入りづらい。  
・公園奥に壁のようなものがあり奥行きを感じられず閉塞感を与える。



写真②  
・手前に壁がありその先の公園内部が見えず、また奥にある柵により鏡川が遮られて見えない。



写真③  
・上に上がる車道はあるが周りの道は一方通行の道が多くなり入り組んでおりわかりづらい。



写真④  
・上に上がる道はあるが見えづらく、堤防が立ちふさがっているためこの先何も無いように感じられる。

## 公園のデザインの基本方針

公園のある土地は堤防のため鏡川が見えるように高さを下げるわけにはいかない。そのため公園の高さはそのままにして公園へのアクセスの部分で「人が歩きたくなる」、「この先に何があるのか」といった期待感を持たせるようなものにする必要がある。そのため公園と道路を使い、道路と堤防のレベル差を埋めるものとする。

公園のデザインは鏡川を眺められる視点場をつくる。公園内部はなるべく鏡川への眺めを遮るものを作らず公園と川を分断せず一体のものとしてデザインする。

## 自動車の動線



図3, 現状の自動車動線

現状の自動車道線は堤防南側の道路が遊歩道に向かつての一方通行であり、遊歩道に突き当たるとその後は北上することしかできないようになっている。

また、鏡川沿岸の道路につながる道にはその西側の道路からしか入れないようになっている。



図4, 計画自動車動線

グリーンロードから公園へ歩行者のアクセスをスムーズにしたことによって道路の機能的には問題ない。

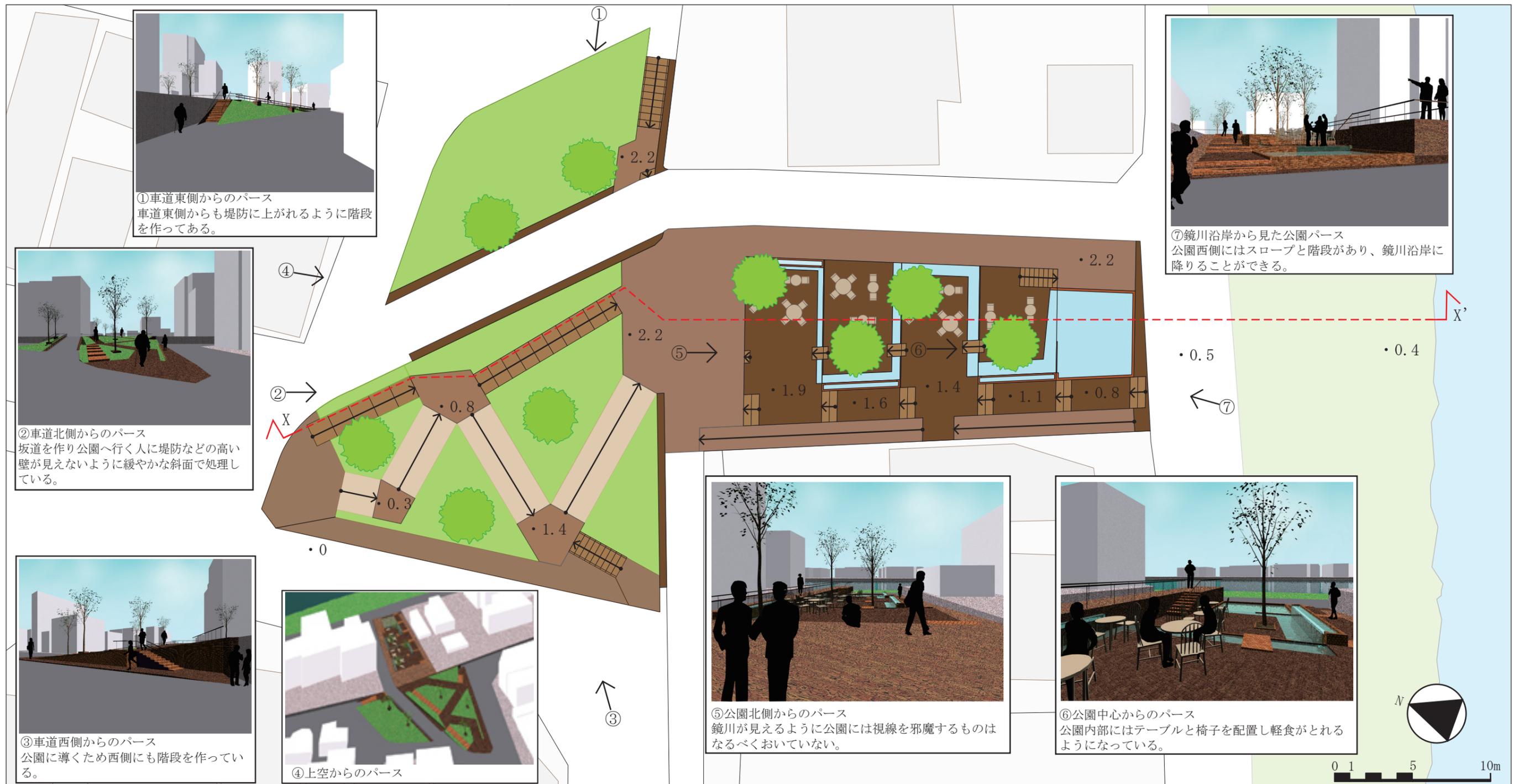


図5, 平面図とパース

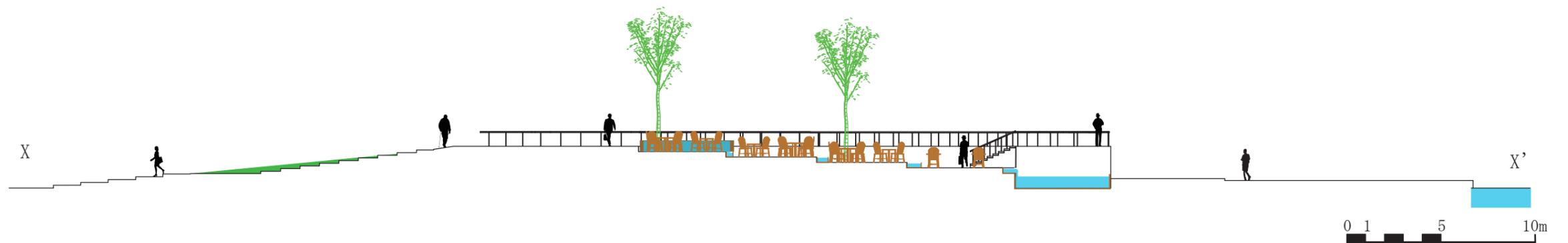


図6, 断面図